

税所敦子 あきしよ 歌人。文政八年二月六日山城國生れ、明治二十二年二月四日歿（二八五―一九〇）。舊姓林。筆名あつ子、税所あつ子、楓内待敦子。和歌まこと種有功い學ぶ。河門の薩摩藩士税所篤之の後妻となし一女を儲ける。夫歿後、藩主高津齊彬の世子守波等と經く、明治八年宮内省出仕。屋代熊太郎編『税所敦子刀白（傳記 文集 歌集）』（大正五年七月）千二百頁兒島・屋代熊太郎刊、六盟館發賣）刊。
著書『御垣の下草』全一冊（明治二十一年十一月）千一百頁税所藏版、松井總兵衛刊）、『内外詠史歌集』全二冊（編、明治二十八年六月）千九百頁税所藏版、松井總兵衛刊）、『庭の摘草―附歌德記』（黒田清綱共撰、村松清陰編、明治二十五年十一月）千一百頁博文館）、『御垣の下草・後編』全二冊（明治二十六年五月）千一百頁税所徳子編刊、吉川半七出版）、『あつ子』（屋代熊太郎註釋、大正二年一月）千五百頁文社、六盟館發賣）、『明治の歌仙』（合著・大町五城編、大正三年四月）千六百頁日本歌道奨勵會）等。